

# 北海道浮魚ニュース

令和 7(2025)年度 3 号

2025 年 5 月 30 日

道総研 函館水産試験場

ホームページ

[https://www.hro.or.jp/fisheries/research/kushiro/topics/ukiuo\\_news.html](https://www.hro.or.jp/fisheries/research/kushiro/topics/ukiuo_news.html)

## ◎日本海スルメイカ北上期調査

5 月 20～25 日の期間、津軽海峡周辺から秋田県沖にかけての日本海で、函館水産試験場調査船金星丸（151 トン、2 連式イカ釣機 5 台、集魚灯 20 灯装備）により実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・ スルメイカの分布密度は低く、全漁獲調査点の平均 CPUE は昨年と同程度で過去 5 年平均を下回った
- ・ 体サイズは昨年および過去 5 年平均と比べて小さかった

### 1. 水温分布 (図 1)

漁獲調査を実施した 5 地点の表面水温は 12.8～14.9℃ (昨年 13.4～14.3℃)、深度 50m の水温は 8.0～12.8℃ (昨年 11.0～11.7℃) の範囲にありました。スルメイカの分布の目安となる深度 50m で 10℃以上の水温帯は、東経 139 度以東の沿岸部で広く分布していました。

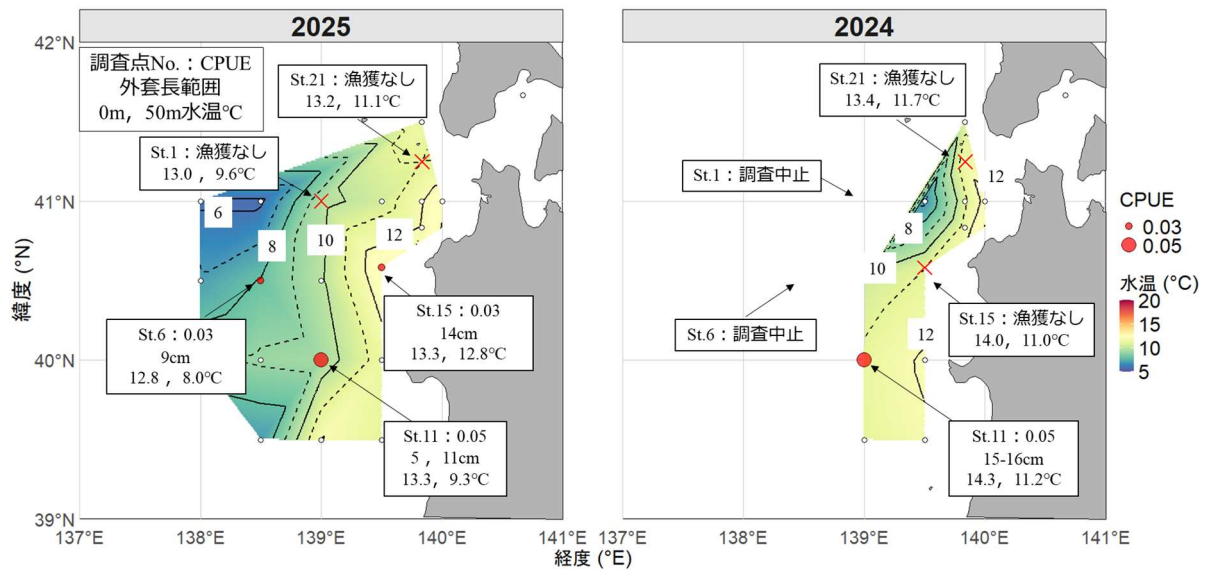


図1 スルメイカの漁獲調査結果と深度50mの等温線図 (左: 2025年、右: 2024年)

矢印は漁獲調査点を、●はCPUEを、×は漁獲がなかった調査点を、○は海洋観測のみの調査点を示す

## 2. 流向流速分布 (図 2)

航行中の ADCP 観測により得られた深度 50m における流向流速を図 2 に示します。対馬暖流は 50m 深の水温 10°C の等温線に沿って北上していました。道総研では北海道周辺海域で、2 ヶ月ごとに 3 隻の調査船を用いて定期海洋観測を行い、海況速報を発信しています。以下の URL にて公開していますので、こちらもご参照下さい。

<https://www.hro.or.jp/fisheries/research/central/section/kankyousokuhou.html>

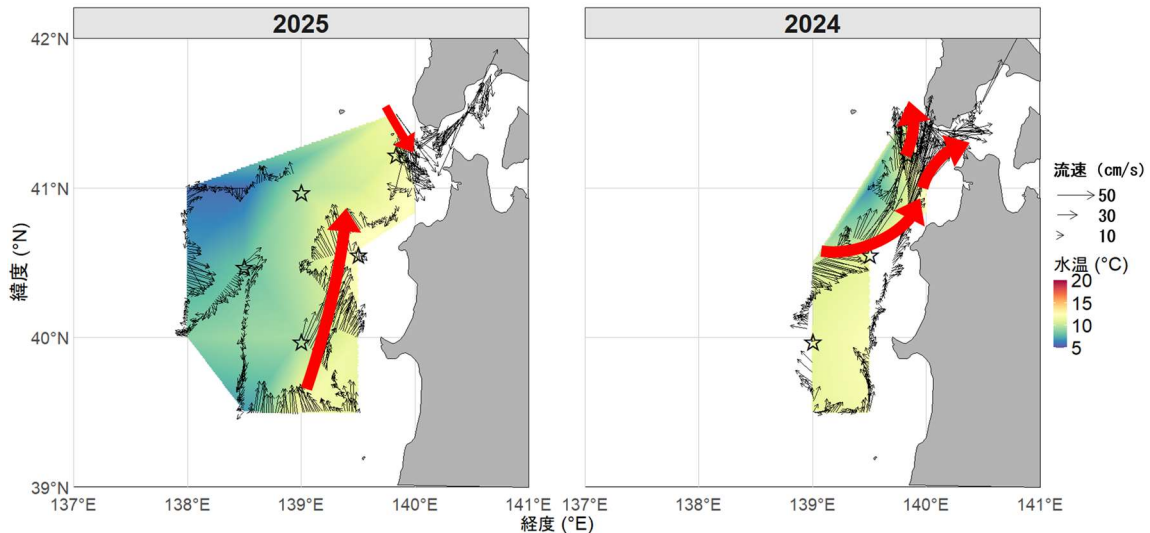


図 2 2025 年 (左) と 2024 年 (右) の深度 50m の流向流速と水温分布図  
赤い矢印は対馬暖流と津軽暖流の模式図を、☆は漁獲調査点を示す

## 3. スルメイカ分布密度 (図 1、図 3)

漁獲調査点では、2 連式イカ釣機 5 台を用いて日没後に 5 時間以上漁獲調査を実施しました。調査を実施した 5 地点の CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たり漁獲尾数) は 0~0.05 (昨年 0~0.05) の範囲にありました。CPUE が最も高かったのは男鹿半島沖の St. 11 で CPUE は 0.05 (昨年 0.05) でした。また、St. 21 を除く漁獲調査点でイカ釣りでは採集しにくい小型のスルメイカをたも網で採集したところ、主に 10cm 以下の小型のスルメイカが確認されました。

漁獲調査を行った 5 地点の平均 CPUE は 0.02 で、昨年 (0.02) と同じであり、過去 5 年平均 (0.77) を大きく下回り、2001 年以降では低い水準にあります。

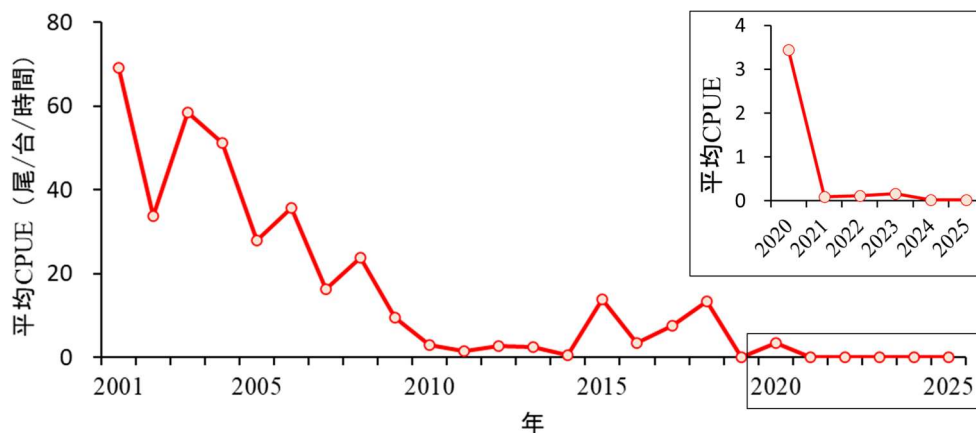


図 3 漁獲調査を実施した各地点の平均 CPUE の経年変化

#### 4. スルメイカの大きさ（図4）

漁獲調査で採集されたスルメイカの外套長の範囲は5～14cm（昨年15～16cm）でした。近年は漁獲尾数が少なく（今年4尾、昨年2尾）、単純な比較は難しいものの、本調査で採集されたスルメイカは昨年および過去5年平均と比べて小型でした。また、漁獲調査点でも網を用いて採集されたスルメイカの外套長の範囲は3～15cmでした。

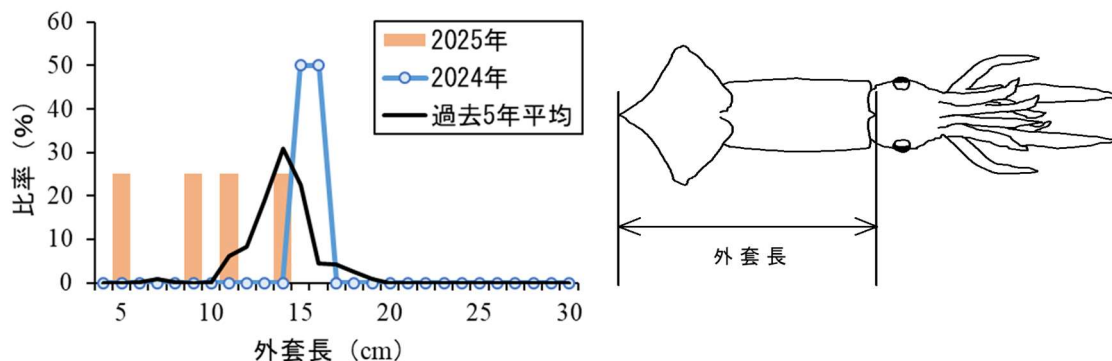


図4 調査海域全体の外套長組成

※本調査の一部は水産資源調査・評価推進等委託事業により実施しました。

#### ◎4月までの本州日本海におけるスルメイカの調査結果と漁況

国立研究開発法人水産研究・教育機構より、4月までの本州日本海におけるスルメイカの調査結果と日本海沿岸域の漁況についての情報提供がありましたので、概要をお知らせします。

- ・ 2024年10月に実施したスルメイカ稚仔調査では、スルメイカ幼生の平均分布密度は2023年および過去5年（2019年～2023年）平均を下回った
- ・ 2025年1月～3月の小型いか釣り漁業等によるスルメイカ（生鮮）の漁獲量は、日本海沿岸域全体で、前年並で過去5年（2020年～2024年）平均を下回った

詳細は以下の水産研究・教育機構のホームページからご覧になれます。

[https://www.fra.go.jp/shigen/fisheries\\_resources/forecast/surume.html](https://www.fra.go.jp/shigen/fisheries_resources/forecast/surume.html)

金星丸 海洋観測速報 <https://hro-fish.net/kinsei/>  
(函館水産試験場試験調査船金星丸の海洋観測結果がご覧になれます。)

お問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部、TEL: 0138-83-2893  
FAX: 0138-83-2849